

小児科学7

各論4

血液・腫瘍性疾患

血液の性質

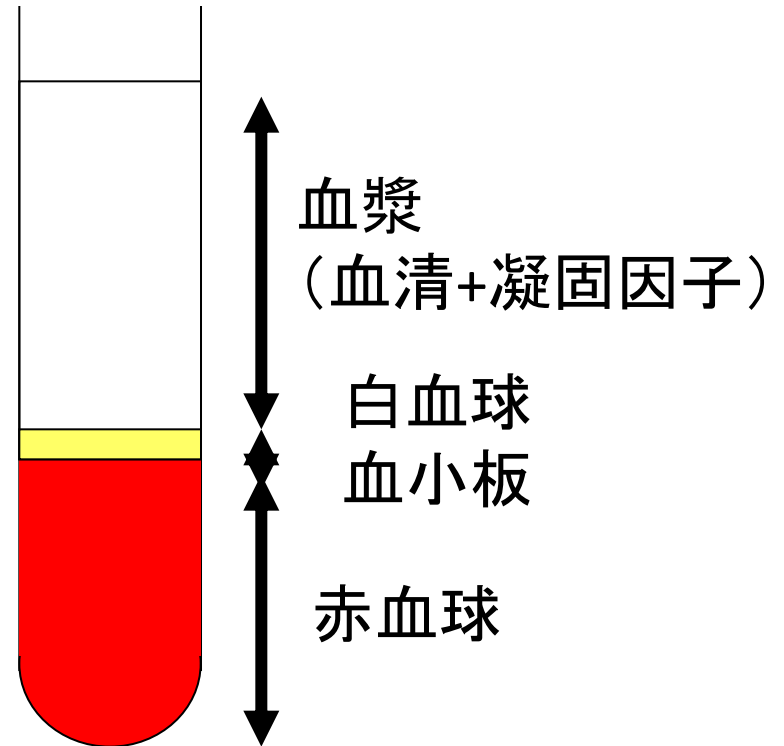
- 血球

 - 赤血球

 - 白血球

 - 血小板

- 血漿(血清+凝固因子)



遠心沈殿による分離

腫瘍

- 腫瘍

- 良性腫瘍：転移しない

- 悪性腫瘍：転移する

腫瘍の定義

- 生体内の細胞が合理的増殖ではなく、異形成を取り、自立性を持ち一方的に過剰増殖したもの
- 異形成: ある組織や細胞が形態上正常範囲を逸脱した場合

自律性増殖と過剰増殖

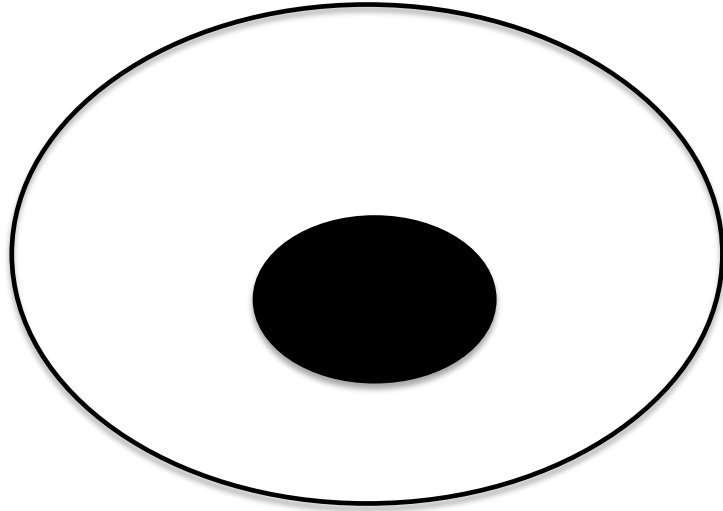
- 自律性増殖：無統制、無秩序、不可逆的、無目的的
- 過剰増殖：非合目的な増殖

腫瘍細胞の困った点

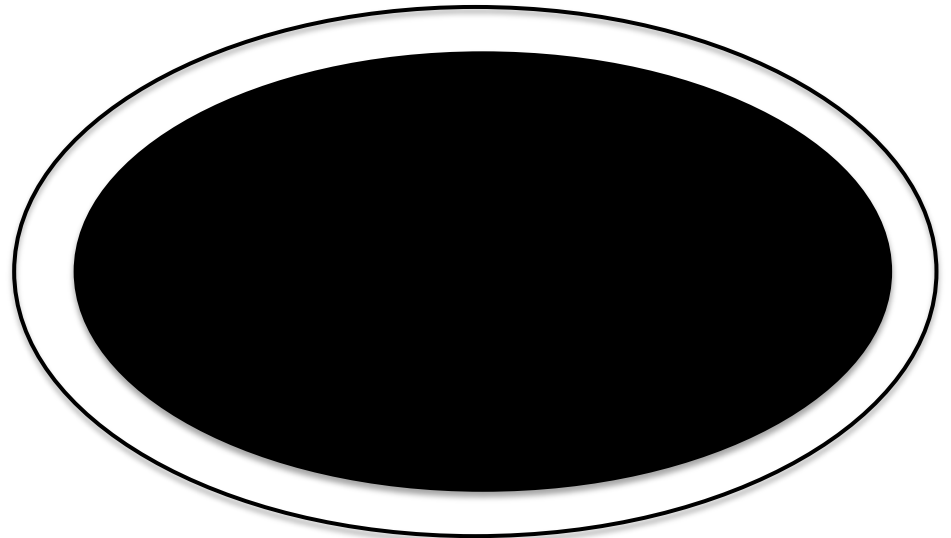
- 早期には自覚症状が乏しい
 - 種類が多い
 - 転移・再発しやすい
 - 生体の免疫機能にかかりにくい
 - 全身の栄養を消費して、悪液質を作る
-
- 悪液質：全身状態が衰弱して、皮膚の色素沈着や眼瞼の浮腫を来す

悪性細胞の特徴

- 核・胞体比(N/C比)が高くなる
- 核のクロマチンの増量、過染性
- 核小体の増大、増多
- 染色体の異常
- 胞体当好塩基性に染まる



正常細胞



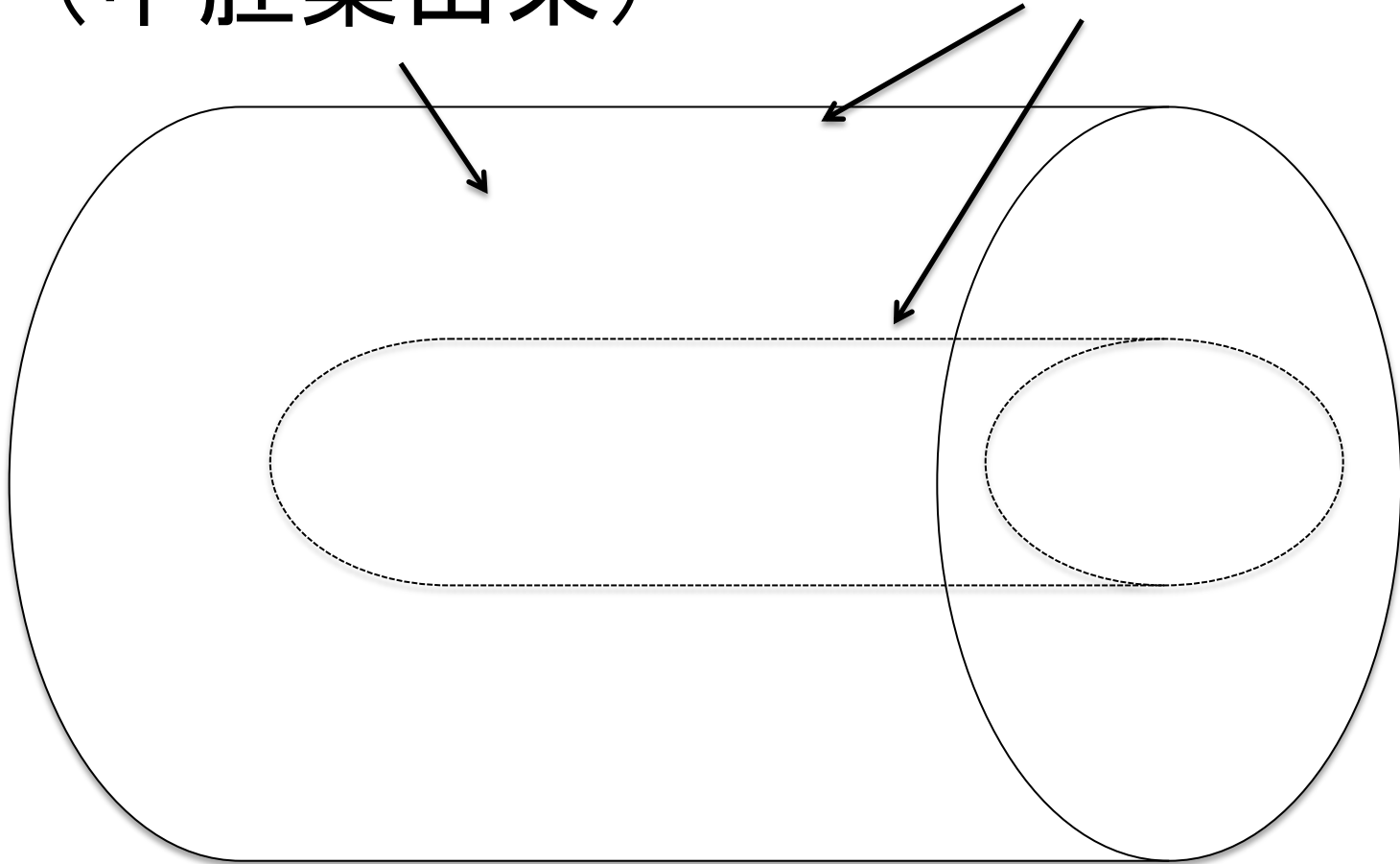
惡性腫瘍

がんと肉腫

- 造血器：白血病など
- 上皮細胞：癌（がん：癌腫）
- 非上皮性細胞：肉腫（にくしゅ）

非上皮
(中胚葉由来)

上皮
(外胚葉、内胚葉由来)



悪性腫瘍

- 悪性腫瘍

1) 自律性増殖: がん細胞はヒトの正常な新陳代謝の都合を考えず、自律的に勝手に増殖を続け、止まることがない。

2) 浸潤と転移: 周囲にしみ出るように広がる(浸潤)とともに、体のあちこちに飛び火(転移)し、次から次へと新しいがん組織をつくってしまう。

3) 悪液質(あくえきしつ): がん組織は、他の正常組織が摂取しようとする栄養をどんどん取ってしまい、体が衰弱する。

良性腫瘍

- 「自律性増殖」はする
- 「浸潤と転移」: なし
- 「悪液質」: なし
- 増殖のスピード: 悪性腫瘍に比べるとゆっくり
- 症状: 圧迫症状あり、再発なし